

大杉 優さん

Yuu Oosugi

設計事務所勤務

1992年、岡山県生まれ。千葉県立千葉西高校から実践女子大学生活科学部生活環境学科。同学園キャンパス計画室を経て、現在は設計事務所で二級建築士として設計業務などに携わっている



住む人をワクワクさせる 住まいを設計したい

私が子どもの頃、母がよく姉とおそろいの洋服やカバンなどを作ってくれました。その影響でしょうか。幼い頃から端切れを集めてみたり、工作をすることが大好きでした。建築に興味を持つようになったのは、中学生の時でした。友人のお父さんに、テーマパークのアトラクションの建物を設計された方がいて、実際に行ったり、話を聞く中で、訪れる人を幸せな気持ちにさせてくれるような仕事だと感じ、憧れたことがきっかけです。

大学進学を決め手は、生活環境学科でアパレル・ファッションや住環境デザインなどが総合的に学べることでした。学生生活はとて

も充実し、授業では子供服のデザイン、家具のデッサンや模型を作りました。また、軽音楽部ではドラムを担当し、他学部にも仲の良い友人ができるなど、濃密な時間を過ごしました。

卒業制作は建築デザインが専門の高田典夫先生の指導を受けました。卒業後、キャンパス計画室のスタッフとして、母校のキャンパス整備の仕事に関わらせていただきました。

新築・改修工事の現場で、多くの建築の専門家と働いたことは、今の仕事にとっても役立っています。将来は一級建築士の資格を取り、シンプルながらワクワクするような住宅を設計したいと思っています。



実践女子学園キャンパス計画室時代、模型制作をする大杉さん(左)



男女共同参画推進担当理事
短期大学部長

高瀬真理子教授

大杉さんの場合、もの作り全般に興味があったということが重要です。ですから、実践女子大学の生活環境学科で「衣」と「住」の双方を学び、幅広い勉学と濃密な時間の中から住まい造りのプロを目指して設計や建築デザインへと進まれたのでしょう。そういう視野がこれからの住宅設計に生かされ、2年間の実務経験の後には、多くの人々の生活に笑顔^{おも}を灯す一級建築士としての活躍につながっていくことでしょう。